

事務局ニュース

《事務局業務日・時間》月曜日～金曜日(土日・祭日休業)
午前 9:30～午後 3:30

No.265 2019年12月1日
NPO 法人富山県腎友会事務局
〒931-8443 富山市下飯野 70-4
TEL:076-407-5085
FAX:076-407-5086

発行責任者 中 秀晃
編集 坂田 祐美
定価 50 円(会費を含む)

国会請願署名・募金にご協力をお願いします！

現在、皆様にご協力いただいている署名・募金は、私たち透析患者をはじめとする腎臓病患者の生活を守るために大変重要な活動です。毎年、全国から集められる50万筆を超える署名が政府への強い訴えとなり、透析患者に至っては、ほとんどの方が無料で治療を受けることができます。今からでも十分間に合いますので、請願書を提出されていない方は一人でも多くの署名をお願いいたします。

なお、募金は国会請願行動や患者会活動のための貴重な財源として大切に活用させていただきます。

今回の請願内容(5項目)

1. 腎臓病の早期発見と重症化予防に向けた総合的対策の推進
2. 腎臓病患者が必要な介護支援を受けられる制度の検討
3. 通院困難な透析患者の通院を保障する体制と必要な時に入所・入居できる施設の整備
4. 広域で大災害が発生しても透析治療を受けられる体制に
5. 腎移植ならびに再生医療の研究の推進



※署名ならびに募金は、病院腎友会代表者が取りまとめ、令和2年1月中旬を目途に事務局へ送ってください

令和元年度第2回北越ブロック会議

11月16日(土)～17日(日)の二日間、新潟市で開催され、本会からは池田会長、中事務局長、的場理事、水本全腎協副会長が出席しました。

一日目は、全腎協 馬場会長より全腎協が取り組むCKD 議員連盟との懇談や全腎協 10年後に向けての取り組み、語り部活動の展開などの説明を受け、その後、いかに会員を増やし組織として強化していくかをテーマに各県の取り組みを紹介しながら協議しました。

二日目は、災害対策、青年部、女性部、各県の活動などについてそれぞれ報告がありました。

次回のブロック会議は来年7月に福井県で開催する予定です。



冬の感染症にご注意

インフルエンザは、気温が下がって空気が乾燥する冬(11月～3月)になると流行し、ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎がはやるのもこの冬季です。

日頃から「手洗い・うがい」「マスクの着用」「栄養、睡眠を十分にとる」などの感染予防を心がけましょう。



事務局冬季休業のご案内

12/28(土)～1/5(日)

よろしくお願ひいたします



富山県透析医会会長との懇談会

11 月 12 日(火)、池田会長、事務局員が県透析医会の石田会長(富山市民病院長)を訪ねました。

懇談会では、主に高齢者の通院送迎ならびに終の棲家確保、透析医療従事者の確保などについて意見交換しました。療養病床が削減されていく中、介護保険施設が透析患者を受け入れなくなることは、介護が必要な高齢透析者にとって由々しき事態です。患者会としても国や地方自治体への訴えを続けていくことを伝えるとともに、石田会長も県透析医会で話し合うことを約束してくださいました。



移植者懇談会

11 月 10 日(日)、富山市まちなか総合ケアセンターまちなかサロンで開催し、移植者や家族など 19 名が参加しました。

前半の研修会では、富山県立中央病院 栄養管理科の伊東えりな先生から、腎移植後の食事管理の注意点などを学び、後半の交流会では移植後の食生活を中心に、日頃心がけていることなどについて情報交換しました。

当日は、富山県立中央病院のレシピエントコーディネーターさん、県移植推進財団の高橋コーディネーターも参加され、生活面などにおいてアドバイスをいただきました。



その他の活動

■ 全腎協通院介護研修会(11/2~3)

大森東急 REI ホテル(東京)で開催され、ボランティア移送、療養病床と介護医療院などについて研修しました。(池田会長、中事務局長、水本全腎協副会長 参加)

■ 県交渉(11/21)

富山県民会館 509 号室において、県内の障害者団体とともに要望書を提出しました。

■ 全国代表者シンポジウム(11/23~24)

アワーズイン阪急(東京)で開催され、池田会長、中事務局長、水本全腎協副会長が参加しました。社会保障制度の堅持のためにも組織強化が重要であることから、「組織対策」と「社会保障」の課題をテーマに、各県組織の代表者が課題解決に向けて協議しました。

今後の予定

- 新年挨拶まわり 1/7・1/9 行政関係他
- 全腎協理事会 1/25~26 東京



図書寄贈

10 月の臓器移植普及推進月間に合わせて、富山市在住のジャーナリスト 向井嘉之氏より、移植医療の歴史や現状、課題などをまとめられた、著書「いのちを問う 臓器移植とニッポン」を寄贈いただきました。

移植医療に関心があり読んでみたいという方へお貸しします。本会事務局(☎ 076-407-5085)までご連絡ください。



おくやみ

- 堀内 啓子 殿 北陸中央病院 享年 72 歳
- 浅山 茂宣 殿 富山協立病院 享年 83 歳
- 三角 荘一郎 殿 高陵クリニック 享年 82 歳
- 藤野 繁 殿 かみいち総合病院 享年 80 歳
- 吉田 勝之 殿 元町内科医院 享年 57 歳
- 寺崎 昇 殿 個人会員 享年 76 歳
- 松井 正人 殿 厚生連高岡病院 享年 66 歳
- 草崎 昭子 殿 高陵クリニック 享年 68 歳
- 青木 重雄 殿 南砺中央病院 享年 87 歳

謹んでご冥福をお祈り致します